

賛助会員PRコーナー No.8

平素より西多摩建設業協同組合の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

私たちムサシ建設工業は、昭和47年の設立以来つねに新しい技術の研究・開発をすすめ、道路・鉄道・ダムなどの公共事業をはじめ、さまざまな建設プロジェクトを支えてきました。

あらゆるプロジェクトにおいて、環境へのきめ細かな配慮が重要になっている現在、私たちは、「強く、美しく」というテーマを、すべての発想の出発点にして、法面保護工事の分野に取り組み、力を発揮しています。

今後とも、変わらぬご支援、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

法面保護・法面緑化工事
現場打吹付法枠・簡易吹付法枠
落石防止網・岩盤緑化・岩盤接着
長繊維混入補強土一体緑化工

基礎杭工事
深礎・鋼管杭・オールケーシング

アンカー・ロックボルト工事
永久アンカー・仮設アンカー各種
ロックボルト（補強土工法各種）

その他工事
軽量盛土（発泡ウレタン）
仮設土留・仮橋工事

東京都台東区東上野1-24-2 山茂ビル3階

代表取締役社長 篠原 嗣雄

TEL 03-3835-3631

FAX 03-3834-7793

営業担当 間橋 一哉



周遊道路災害防除

藤原地区緊急災害



日原街道災害防除



大型工事現場研修視察

首都圏外郭放水路見学会についての報告
小池建設(株) 代表取締役小池 正明

平成20年11月26日、天候に恵まれ、参加者18名による見学会が行われました。

埼玉県東部春日部市に位置し、国道16号線地下約50mに建設され、内径10m、延長6.3kmにもなる世界最大級の地下放水路であります。

中川・綾瀬川流域は、地盤が低く水がたまりやすく、水害が繰り返されてきたと言われていいます。そのため、水害に強い町づくりとして、首都圏外郭放水路は建設されたのです。施設は、各河川から洪水を取り入れる流入施設の第1から第5の立坑があり、地下での貯水、流下する地下水路、そして地下水路から洪水を排出する排水機場等で構成され、日本が世界に誇る最先端の土木技術を結集し、平成5年3月に工事着手。約13年の歳月をかけ平成18年6月に完成。

この様な施設の建設により、地域住民の安全、安心が得られたことは、大変大きな事ではないでしょうか。また首都圏外郭放水路では、毎週火曜から金曜1日2回の見学会（予約要）が開かれると聞きました。このような施設が一般に公開される事により、日本が世界に誇る土木技

術のすばらしさや面白さが建設を目指す若者や、また、そうでない人々に少しでも伝わっていけば良いと私は思いました。



◇ 特集 ◇ 多摩川に掛かる橋 第22回

◎羽村堰下橋

都道29号立川青梅線・奥多摩街道の羽村堰入口交差点から羽村堰の駐車場との間にある。通れるのは歩行者と自転車のみ。欄干はずっとあざやかな水色だが、橋桁は水色と白で斜めに塗り分けられている。途中、横へ張り出したところが、左右各1か所あった。

多摩川を眺めおろし、上流側には羽村堰、下流側には羽村大橋を望めることができる。

用途 人道

橋長 267.0m、 歩道=2.1m

桁構造形式

単純合成桁、3径間連続合成桁

下部 橋台2基 橋脚5基

完成 昭和54年3月（管理 羽村市）

水面まで 7m



◎羽村大橋

羽村堰下橋の中央付近から羽村大橋を見たものです。都道250号（あきる野羽村線）で、あきる野市と羽村市を結ぶ主要通路となっています。

写真の右手側があきる野市草花、左手側が羽村市川崎（中洲）、玉川（川岸より左）となっている。

用途 道路 橋長 547.29m、 車道幅 6.5m

歩道(片側) 1.4m~2.15m

構造 桁橋

上部形式

4径間連続PC箱桁、

PCT桁、PC合成桁

2主 I型鋼

下部 橋台2基 橋脚?基

完成 昭和49年3月

水面まで 17m



11月事業報告

- 7日 広報委員会172号編集発行
- 16日 あきる野市防災訓練参加
(あきる野地区委員会)
- 18日 総務委員会
- 19日 正副理事長会・理事会
- 20日 あきる野地区委員会
- 26日 大型工事現場研修視察実施
視察先：首都圏外郭放水路

12月事業計画

- 10日 若手経営者の会経営講習会開催
午後3時 3階会議室
題名：「ファンタジー営業部とは何か？
ー建設業ファンづくり活動の顛末ー」
講師：前田建設工業(株) 総合企画部
広報グループ 岩坂照之様
- 11日 広報委員会173号編集発行
- 12日 年末工事現場パトロール (西多摩分会)
- 13日 あきる野地区委員会
- 16日 総務委員会
- 18日 正副理事長会・理事会
- 27日~1月4日 建設会館 休館
(1月28日(水)午後6時 新年会)
会場：青梅市福祉センター ふようの間